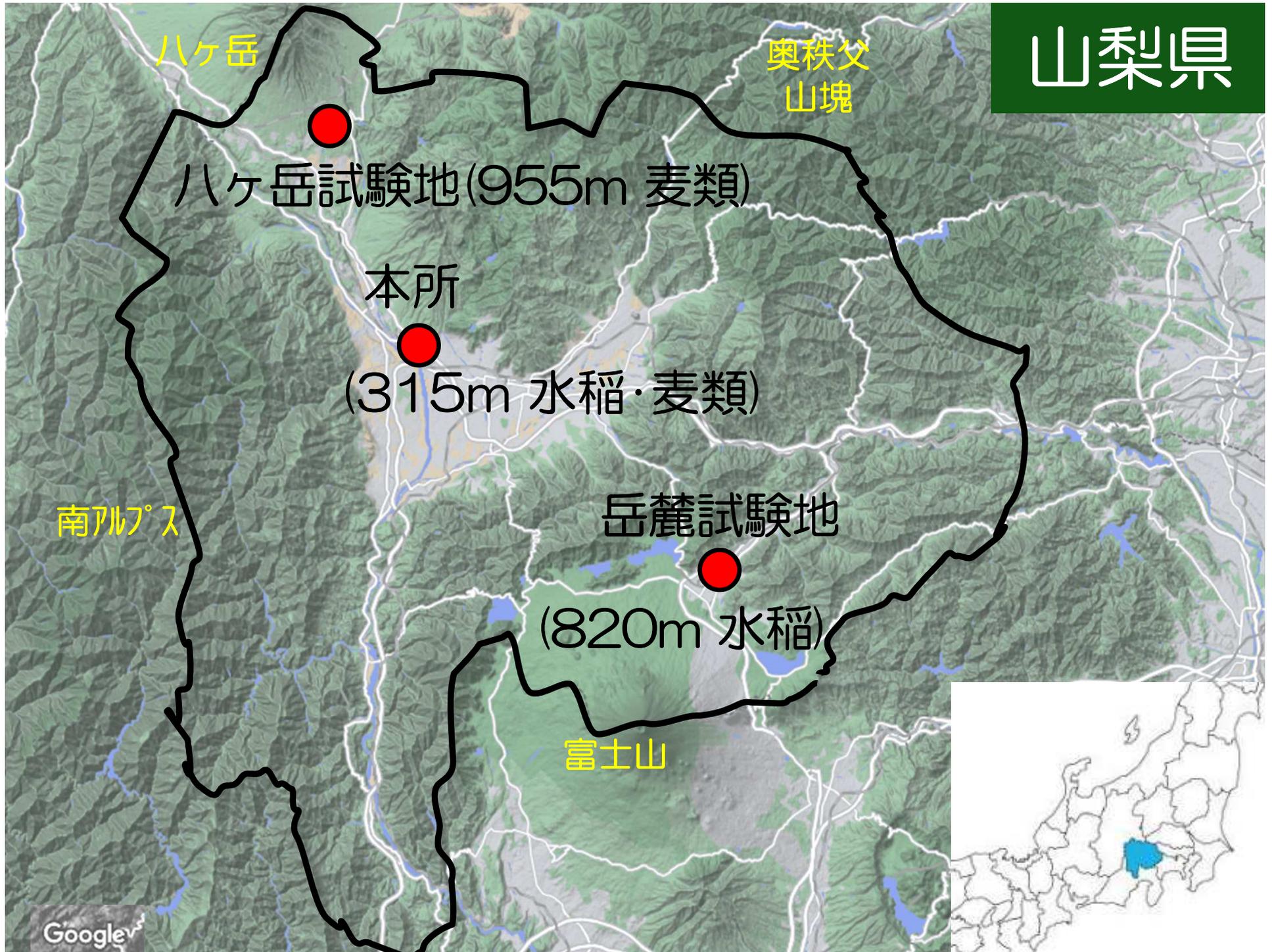


山梨県内の需要に応じた 水稲・麦類品種の選定と 栽培技術の確立

山梨県総合農業技術センター
栽培部 上野直也

山梨県



● 水稲・麦類奨励品種選定

○栽培面積は5000ha余り

○標高差150～1150m 作期4月下旬～7月上旬

奨励品種の熟期が広く栽培形態が多様

水稲：早生（青森県 ふ系熟期）～晩生（宮崎県 南海熟期）

○用途が広い（実需者からの要望）

水稲：粳主食用、米粉用等、酒造好適米、糯種（餅用、有色素米）

麦類：精麦用大麦、日本麺用小麦、パン用小麦

○熟期や用途に応じた奨励品種の選定

水稲粳種：コイヒメ、五百川、ひとめぼれ、コシヒカリ、つや姫、

農林48号、あさひの夢、農林22号、ヒノヒカリ

糯種：ヒメノモチ、こがねもち、マンゲツモチ、朝紫

酒造好適米：ひとごち、夢山水、玉栄、吟のさと

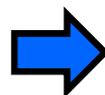
麦類：大麦：ファイバースノウ 小麦：きぬの波、ゆめかおり



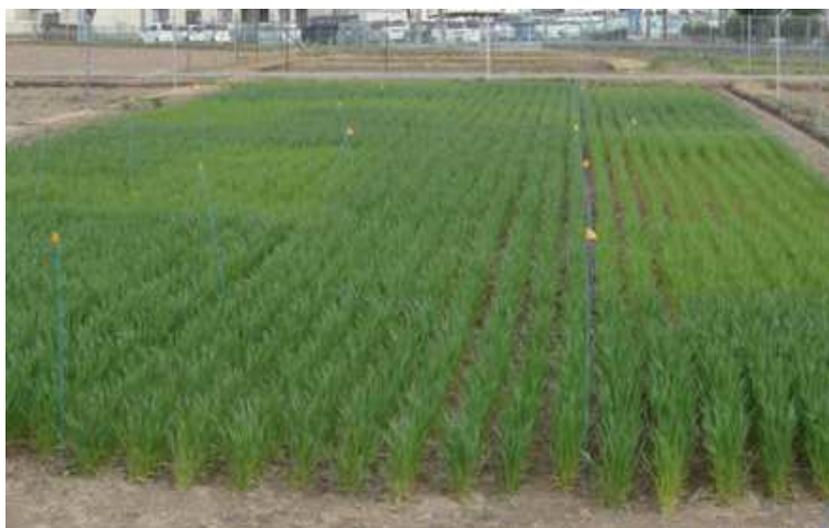
● 水稻・麦類選定品種の栽培技術確立

1 生育診断基準作成による収量・品質の確保

水稻：幼穂形成期
麦類：莖立期・穂揃期
生育診断
(草丈・莖数・葉色等)



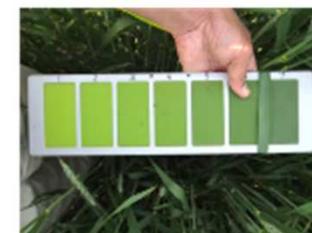
収量や品質の確保
穀粒タンパク質含有率の確保
倒伏の防止



複数年・場所による施肥試験

パン用小麦「ゆめかおり」穂揃期葉色診断

穂揃期葉色		実肥窒素量 (kg/10a)
SPAD	葉色板	
35.0-42.0	5.1-6.0	6
42.1-46.0	6.1-6.5	4
46.1-50.0	6.6-7.0	2
50.1以上	7.1以上	無施用



- * 葉色板の値は止葉 単葉の葉色
- * 子実タンパク質含有率の目標値12%



2 移植・播種時期 刈り取り適期の明確化

複数時期・場所の作期試験
多様な登熟時期の条件



品質：未熟粒、胴割粒、整粒歩合
心白、酒米消化性

容積重、フォーリングナンバー

収量：粃数、登熟歩合、千粒重等

* 気温との関係を解析

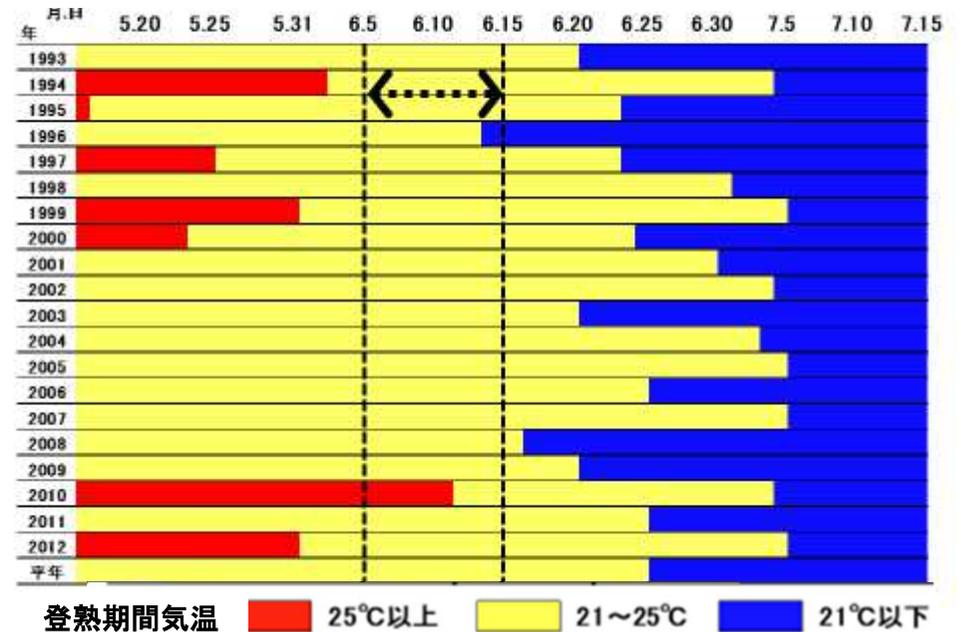


生育ステージモデル

$$DVR = \frac{[1 - \exp\{B(L - L_c)\}]}{[1 + \exp\{-A(T - T_h)\}]} \times 1/G$$

堀江・中川(1990)

酒米「吟のさと」の移植適期



6月2半旬～3半旬での移植が
外観品質低下のリスクが少ない



今後の課題

水稻

コシヒカリ～ヒノヒカリ熟期の高温耐性品種

マンゲツモチ熟期の糯品種

WCS専用品種

酒造好適米オリジナル品種

麦類

糯性大麦品種

ゆめかおり後継のパン用品種



最後に

試験に関わって頂きました全ての皆様に
御礼申し上げます

